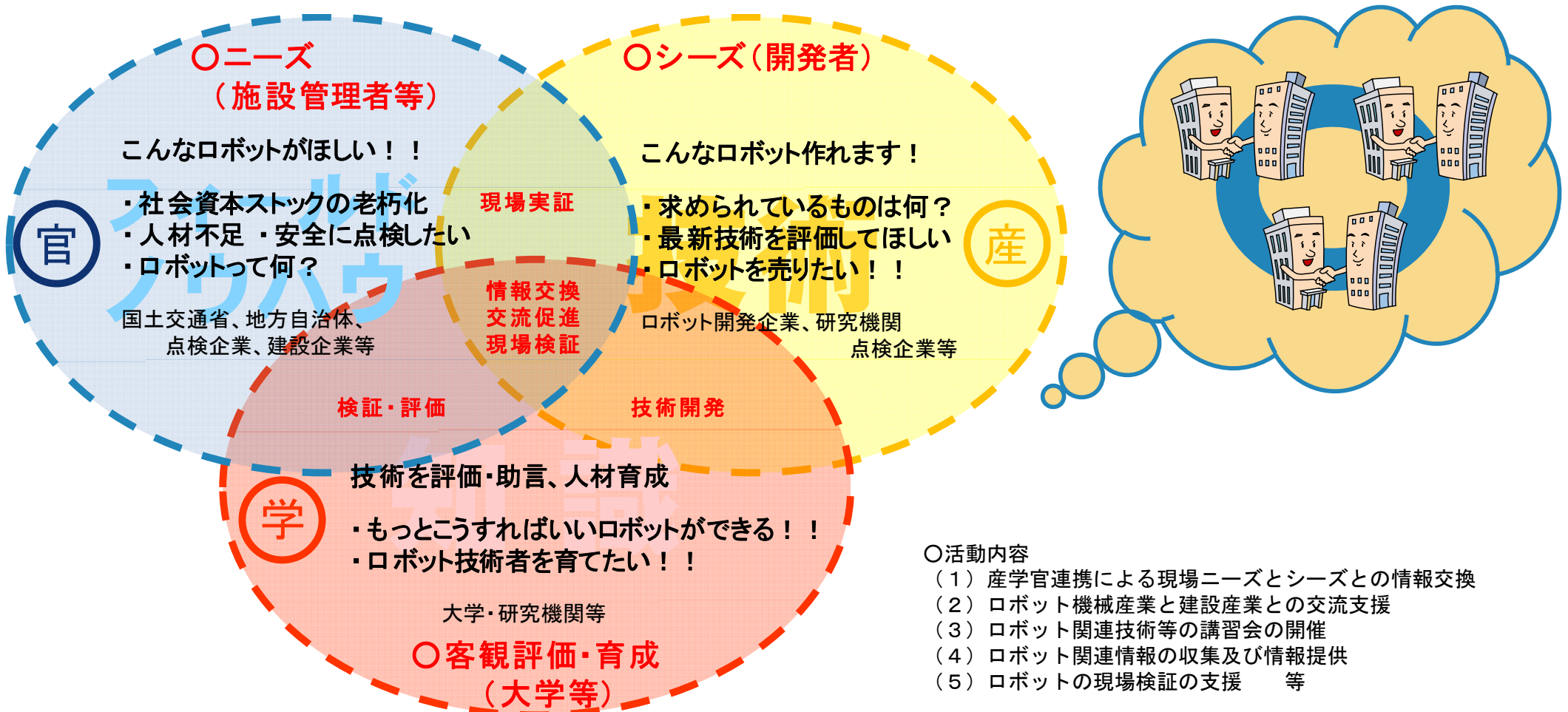


## ＜設立の目的＞

インフラ維持管理の効率化・高度化、被災調査、災害対応などの支援を目的として、**産・学・官**の関係者が一体となり、社会インフラ用ロボットに関する情報交換、ロボット機械産業と建設産業との交流促進、ロボット導入現場検証の支援等を行うために本コンソーシアムを設立したものです。



- 平成27年4月21日に「中部圏インフラ用ロボットコンソーシアム(代表:名城大学福田教授)」を設立、第1回会議を開催。
- 会議には、学識者・公募会員等100者超が参加、産・学・官の各分野からインフラ用ロボットの状況を発表。
- 第1回会議では、国土交通省、大学、民間企業からインフラ用ロボットの動向や活用事例の紹介を受けた。

## 挨拶



八鍬中部地方整備局長



福田名城大学教授  
(本コンソーシアム代表)



= 第1回会議 =

### ○国土交通省のとりくみ

次世代社会インフラ用ロボット開発・導入の推進について  
国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課

### ○大学のとりくみ

次世代ロボットの研究開発状況について  
名城大学 理工学部 福田教授

### ○企業からの技術紹介

無人飛行ロボットを活用した取り組み事例  
について (キャリオ技研 (株))



コマツスマートコンストラクションについて  
(コマツレンタ (株))

空中放射音波による遠距離  
非破壊検査技術について  
(佐藤工業 (株) 技術研究所)

